

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B1)

(11)特許番号

特許第7386371号
(P7386371)

(45)発行日 令和5年11月24日(2023. 11. 24)

(24)登録日 令和5年11月15日(2023. 11. 15)

(51)Int. Cl. F I
E 0 2 B 7/02 (2006. 01) E 0 2 B 7/02 B

請求項の数 3 (全 14 頁)

<p>(21)出願番号 特願2023-137839(P2023-137839)</p> <p>(22)出願日 令和5年8月28日(2023. 8. 28)</p> <p>審査請求日 令和5年9月29日(2023. 9. 29)</p> <p>早期審査対象出願</p>	<p>(73)特許権者 390029012 株式会社エスイー 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 アイランドタワー4 3階</p> <p>(74)代理人 100124316 弁理士 塩田 康弘</p> <p>(72)発明者 萬▲徳▼ 昌昭 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 株式会社エスイー内</p> <p>(72)発明者 竹家 宏治 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 株式会社エスイー内</p> <p>審査官 柿原 巧弥</p>
---	--

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 防災構造物

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

構築対象のいずれかの方向に間隔を置いて配列する複数個の柱部材と、前記の幅方向に隣接する前記柱部材間に、高さ方向に間隔を置いて架設される鋼管コンクリート製の複数本の水平材とを備え、

前記水平材の軸方向両側の端面は前記水平材の軸方向に直交する平面に対し、前記構築対象の下流側から上流側へかけて前記水平材の軸方向の長さが次第に増す向きに傾斜した傾斜面を持ち、

この水平材の前記傾斜面を受ける前記柱部材の支持面は前記水平材の前記傾斜面に対応した傾斜面を持ち、

前記水平材の前記傾斜面は前記柱部材の前記支持面に面接触しながら、前記柱部材に支持されていることを特徴とする防災構造物。

【請求項2】

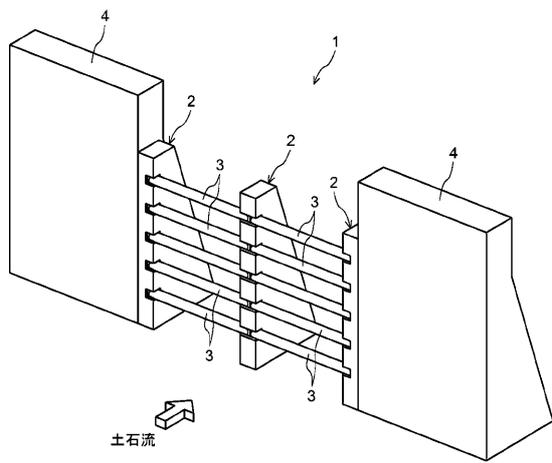
前記柱部材の上流側の表面から、前記水平材の軸方向の端部が納まる凹部が形成され、この凹部の下流側の側面が前記支持面になり、この支持面の下方と上方に、前記水平材の軸方向の端部を上下から保持し得る載置面と保持面が形成されており、

前記水平材の軸方向両側の端部は前記柱部材の前記支持面に面接触しながら、前記載置面と前記保持面に上下から挟まれていることを特徴とする請求項1に記載の防災構造物。

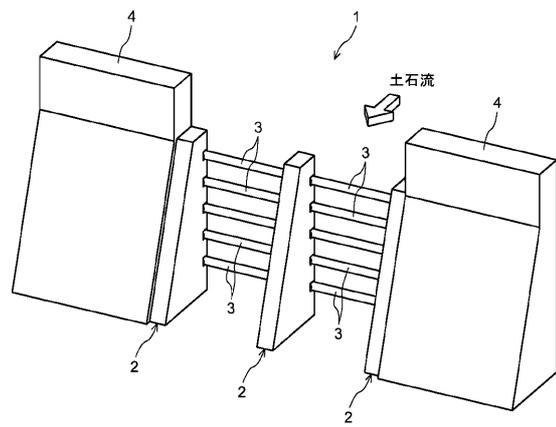
【請求項3】

前記凹部内に前記水平材の軸方向の端部が納まった状態での前記水平材の上流側の、前

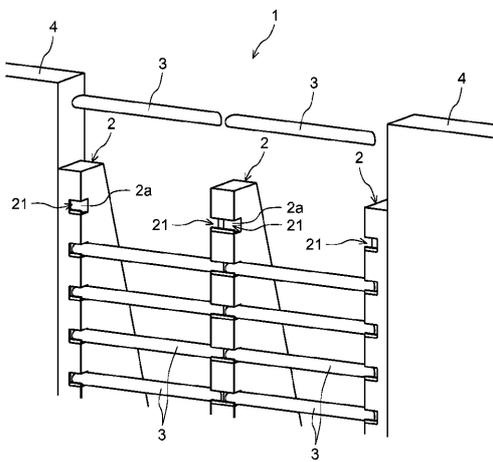
【图 1】



【图 2】



【图 3】



【图 4】

